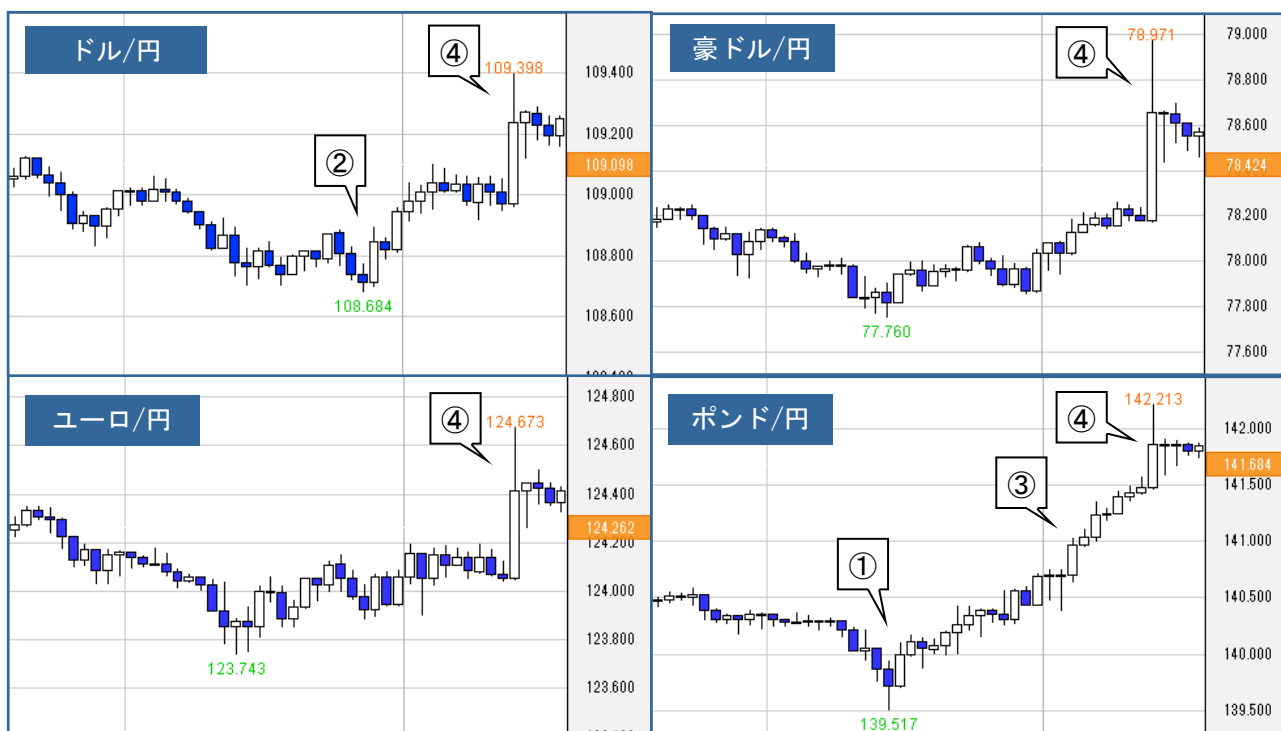


1月18日(金曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、110円回復の機運高まるか？

17日(木)の為替相場



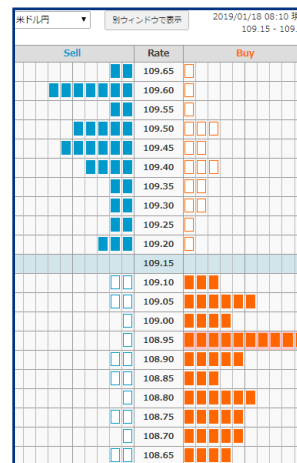
期間: 17日(木)午前7時10分~18日(金)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所: 外為どっとコム

- ① 英国の欧州連合(EU)離脱=Brexitを巡り、一部報道が「メイ首相とコービン労働党党首が合意すれば、EUはBrexit期限を延長する」と報じたことが伝わるとポンドが反発した。
- ② 米金融大手・モルガン・スタンレーの決算が低調であったことが伝わるとNYダウ平均先物の下落に伴い一時ドル売り・円買いが強まった。ただ、その後に発表された米1月フィラデルフィア連銀製造業景気指数が17.0、米新規失業保険申請件数が21.3万件と共に予想(9.0、22.0万件)より強い結果になるとドルが切り返した。
- ③ Brexitの是非について「メイ英首相が2回目の国民投票について議員らと情報を共有している」との報道が伝わるとポンドに買いが集まった。
- ④ 一部報道でムニューシン米財務長官が中国の輸入品に課されている関税の一部または全部を撤廃することを提案(後に財務省が否定)したことが報じられると円売りが活発化し、ドル/円やクロス円が急伸した。ポンド/円は①や③を受けて英国のBrexitに対する楽観的な見方が広がったことも相まって1カ月ぶりの高値を付けた。

17日(木)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
20402.27 ▼40.48	5850.054 △14.895	2559.637 ▼10.785	6834.92 ▼27.76	10918.62 ▼12.62
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24370.10 △162.94	0.0060% ▼0.0040	2.281% △0.008	1.337% △0.026	0.243% △0.019
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.5637% △0.0228	2.7504% △0.0286	52.07 ▼0.24	1292.30 ▼1.50	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	108.600-109.700	123.800-125.100	78.100-79.100	140.900-142.400

【ドル/円】

昨日のドル/円は小幅ながらも続伸。一時は109.40円前後まで上昇して1月2日以来の高値を付ける場面もあった。なお、1月2日の高値は109.73円前後。今のところこれが月初来高値であり年初来高値でもある。これを上抜けて、110円突破の足がかりとできるかが本日以降の見どころとなろう。ただ、12月日銀短観で示された大企業・製造業の想定為替レートである109.41円付近では引き続きドル売り・円買いが出やすいと考えられる。110円台回復に向けて上伸するためには、これらの戻り売りを飲み込むだけの強材料が必要となりそうだ。

執筆者・袖田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
1/18(金)	18:00		(ユーロ圏)11月経常収支(季調済)	230億EUR	—
	18:00		(ユーロ圏)ビスコ・イタリア中銀総裁、講演	—	—
	18:30	○	(英)12月小売売上高(前月比)	+1.4%	-0.8%
	18:30		(英)12月小売売上高(除自動車)(前月比)	+1.2%	-0.8%
	23:05		(米)ウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁、講演	—	—
	23:15	○	(米)12月鉱工業生産(前月比)	+0.6%	+0.2%
	23:15		(米)12月設備稼働率	78.5%	78.5%
	23:15		(米)1月ミシガン大学消費者態度指数・速報値	98.3	96.8
	25:00		(米)ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁、講演	—	—
	—		G20財務相・中央銀行総裁代理会議(東京、~18日)	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。